



報道関係者 各位

平成 30 年 11 月 29 日

【照会先】

奈良労働局 労働基準部監督課

課長 喜瀬 真太郎

監察監督官 渡邊 慎一

(電話) 0742(32)0204

長時間労働削減に向けた取組について意見交換

～ 奈良労働局長がベストプラクティス企業への
職場訪問を実施しました ～

奈良労働局（局長 伊達浩二）では、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、過重労働・長時間労働削減に取り組むベストプラクティス企業への訪問を、平成 30 年 11 月 15 日（木）に実施しました。

奈良労働局長が、株式会社天理時報社（奈良県天理市稻葉町 80 番地）を訪問し、同社代表取締役社長前川誠司氏らと「長時間労働削減に向けた取組」をテーマに意見交換を行いました。

その後、担当者から説明を受けながら職場内の視察を行いました。

詳細は、別添のとおりです。

なお、当日は、奈良労働局長より、働き方改革への取組についての要請書を前川代表取締役社長に手渡しています。

過重労働・長時間労働削減に向けて、このような取組が行われています。

企業方針に「労働時間管理」を明記

経営方針に「時間管理の徹底」を入れ、社として時間の有効管理、ひいては労働時間の削減に努めることとしている。経営方針は社内各所に掲示し、意識付けをしている。

業界の実情に対応した労働時間制度の導入

デジタル技術やインターネット（メール）の普及による「短納期」「頻繁な注文内容の変更・修正等」への対応、また一年間の「閑散期」「繁忙期」の差が大きいことが労働時間管理上問題となっていることに対して

- ・繁忙期と閑散期に対応する形で一年単位の変形労働時間制を採用し、年間トータルで労働時間管理を行っている。
- ・「短納期」「頻繁な注文内容の変更・修正等」に対応するため、全社員に時差出勤を導入し、翌日の出勤時間をずらす対応を行っている。

業務改善面からの効率化等の結果として時間外労働削減を実現

- ・自動化工程の輪転機を導入することで、目視による仕上がりの確認を行っていた作業員の精神的負担を減らし、業務の効率化が図られ、その結果、時間外労働を削減できた。
- ・速乾性の高いUVインキを使用することで、インキが乾くまでの時間を大幅に短縮できて工程の効率化が図られ、その結果、時間外労働を削減できた。
- ・勤怠管理については、タイムカードによる管理から、給与計算ソフト導入に併せてICカードによる勤怠管理システムを導入。（出勤・退勤時刻管理の対象は、部長以下の管理職を含む全ての従業員。）これにより総務部署の業務が省力化され、その結果時間外労働を削減できた。

労働時間の現状把握、労使間の意思疎通・意見交換

- ・各部署ごとの時間外労働の状況は、毎月集計の上、会社の役職者で構成する「役職会」に報告されており、社として実情把握を行っている。
- ・「役職会」での決定事項は、日々の朝礼の場で各部署に伝達されている。また、従業員からの要望等は、労働組合との交渉の場や、労使代表者で構成する安全衛生委員会の場で収集・把握している。

社員育成

- ・現在の作業だけでなく他の作業もできる多能工な人材の育成を行うことで、個々人の能力向上、業務の効率化を図っている。
- ・技術伝承、育成のための研修や、機械業者や外注業者に出向いて、自らが扱っている機械のこと、作業環境や実状を見てもらって、自らの仕事を見つめ直してもらうような取組も行っている。

株式会社天理時報社 社屋

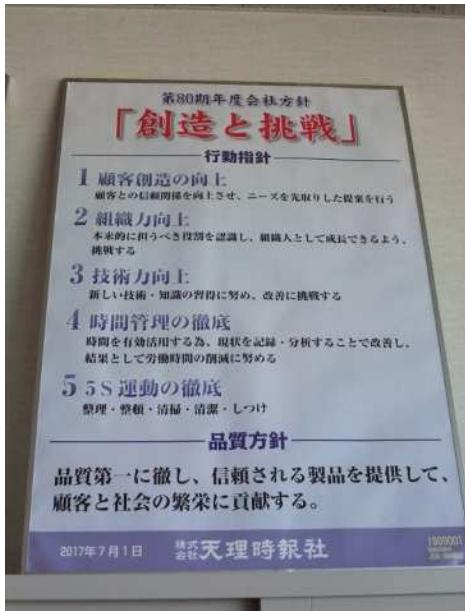
意見交換の様子



事務所で使用している勤怠管理システム



工場内で説明を受ける伊達局長(右)



会社方針の一つに「時間管理の徹底(労働時間の削減に努める)」を掲げている。